

町民と議会を結ぶ広報紙

No
208

太子町議会だより

和のまち



肩車で屋台に向かう乗り子の皆さん

9月定例会……………P2～P8
7人が一般質問……………P9～P12
あれこれピックアップ♪
～秋祭り、その伝統と未来～……………P16

9月定例会

全て原案のとおり可決

8月30日から9月25日までの27日間の日程で開催。
令和4年度一般会計などの決算認定7件、報告3件、人事同意案件1件、承認1件、補正予算や条例に関する議案等13件を審議しました。

一般会計補正予算 (第3号)

コロナワクチン接種関連の国庫返還金や交付金確定等による補正、職員の異動等に伴う人件費の補正、ふれあいホールの改修費用など事業執行に伴う関連経費の補正など。

補正額、予算総額は下表を参照。
賛成多数により可決された。
主な事業と質疑応答は以下のとおり。

ふれあいホール改修工事関連費

1,187万9千円
旧庁舎を活用している適応指導教室の、ふ

れあいホールへの移転に向けて空調や照明機器等を改修する。

問 ふれあいホールを適応指導教室として使用するにあたり、今後のビジョンは。

答 現在の場所は仮住まい的であった。適応指導教室の場所をきちんと決めて、不登校の問題に腰を据えて対応していく。子どもたち一人ひとりに応じた教育ができ、最終的には保護者の相談機能も含めた教育支援センターといった役割を考えていきたい。



適応指導教室の移転先 (ふれあいホール)

養育支援訪問事業
187万円
要保護児童対策において、支援が特に必要な家庭等への訪問が増加していることから、居宅介護事業所への委託料を追加する。

問 補正前の予算額と、事業の現状について説明を求める。

答 当初予算は93万6千円、今回の補正で計280万円強と見込んでいる。1日2時間を限度として月20時間以内のヘルパー派遣を行っており、期間は基本的に1カ月以内、状況によって2カ月、3カ月とする事業だ。現状では、なかなか1カ月で生活が改善されるといいう状況にはない。相談件数も増え期間も延びている状況から、今回の補正に至った。

令和5年度補正予算額 (会計別)

会計名	補正額	補正後の総額	主な内容
一般会計 (第3号)	1億6,729万円	128億1,923万円	コロナワクチン接種関連国庫返還金の追加、小学校ランドセル棚改修工事費の追加
国民健康保険特別会計 (第1号)	1,378万円	31億3,700万円	償還金の追加
介護保険特別会計 (第1号)	4,962万円	26億6,630万円	介護給付費準備基金積立金の追加、償還金の追加
後期高齢者医療特別会計 (第1号)	247万円	5億6,105万円	異動に伴う人件費の補正
水道事業会計 (第1号)	493万円	5億3,662万円	異動に伴う人件費の補正
下水道事業会計 (第1号)	10万円	11億9,908万円	企業債償還金の追加、異動に伴う人件費の補正

委員会に付託された議案

龍田小学校ランドセル棚改修
1,127万5千円
教室に設置されている木製ランドセル棚等を改修するもので、森林環境整備促進基金を活用する。

総務経済建設常任委員会
令和4年度水道事業会計決算の認定
令和4年度下水道事業会計決算の認定
付託審査 (P14参照)
を経て、いずれも賛成多数により可決された。

福祉文教常任委員会

(一部改正)
・福祉医療費助成条例
(一部改正)
・放課後児童健全育成事業実施条例 (一部改正)
・町立幼稚園設置条例 (一部改正)
・町立幼稚園における預かり保育に関する条

一般会計決算委員会

令和4年度一般会計決算の認定
付託審査 (P6参照)
を経て、賛成多数により可決された。

教育委員会委員の任命に同意

現委員である竹澤秀代氏 (美原台) の任期が9月30日で満了となることに伴い、引き続き同氏を任命したい旨

功労者等につき承認

太子町まちづくり審議会の答申に基づき、自治功労賞2名、社会功労賞3名、スポーツ功労賞1名の表彰を行い、功労者等に関する説明があり、全員賛成により承認された。

自治功労賞

井村淳子氏 (矢田部)
服部千秋氏 (東南)

社会功労賞

北川重美氏 (阿曾)
森川繁清氏 (上太田)
前田俊春氏 (立岡)
スポーツ功労賞
森澤高明氏 (東出)

暮らしの中の条例

高校生等の入院医療費が助成されます

福祉医療費助成条例 (一部改正)
これまで同条例に基づき、乳幼児や小中学生、高齢期移行者等への医療費助成がなされてきた。この度、高校生 (同年齢の方を含む) の入院医療費に係る自己負担額が、全額助成されるよう拡充が図られる。
令和6年1月1日より適用。

幼稚園での早朝預かりが可能に

町立幼稚園設置条例 (一部改正)
町立幼稚園における預かり保育に関する条例 (一部改正)
町立幼稚園で試行されてきた3歳児保育が来年度より本格実施される。これまで、通常の保育時間終了後から午後6時までの「預かり保育」が可能であったが、ニーズの高かった早朝預かり (午前8時から保育開始まで) も利用できるよう改正された。また、預かり保育料は1時間200円が100円となり、負担軽減が図られる。
令和6年4月1日より適用。



町立幼稚園で早朝預かりはじまる

令和4年度

決算

一般会計歳出
126億9568万円
令和3年度比4.62%減

節目の年
聖徳太子没後

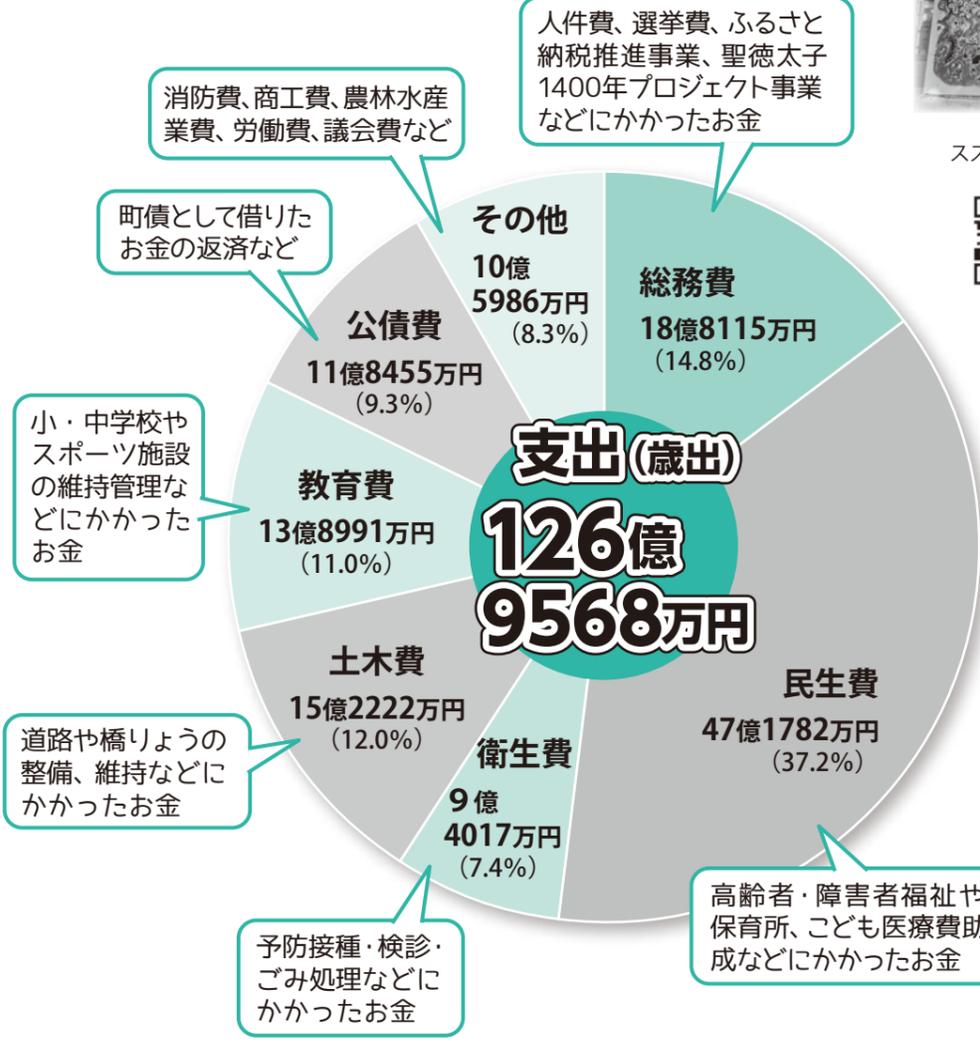
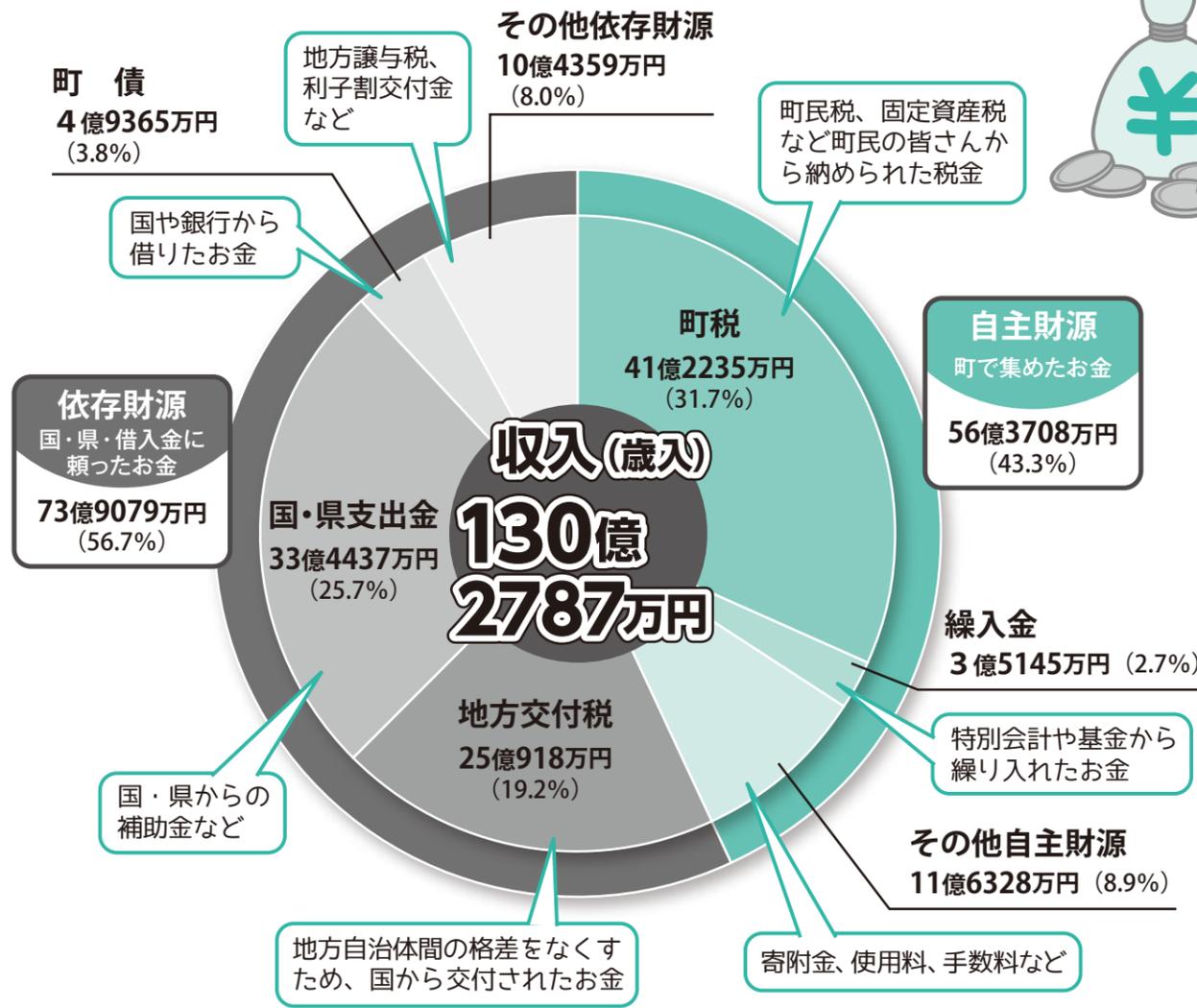
1400年記念事業
も実施



1400年プロジェクト
スズキコージLIVE PAINTING



令和4年度の各会計決算について、一般会計は特別委員会（一般会計決算委員会）を設置し、4特別会計と2企業会計は、所管の常任委員会でそれぞれ審査しました。各決算額は左記のとおりです。



企業会計決算の状況

※企業会計とは…地方公営企業法の適用を受けて独立採算を行う会計をいいます。

区分	収入	支出	差引残高	
水道事業	収益的収支	5億3816万円	4億9906万円	1941万円(純利益)
	資本的収支	7000万円	2億6857万円	△1億9857万円(不足額)
下水道事業	収益的収支	11億7248万円	11億8386万円	△2675万円(純損失)
	資本的収支	8億2万円	11億6386万円	△3億6384万円(不足額)

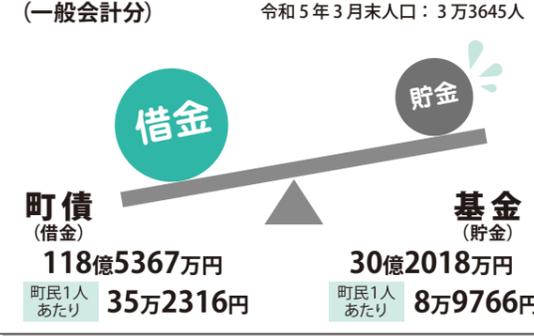
資本的収支の不足額については、「当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額」および「過年度分損益勘定留保資金」で補てん。

特別会計決算の状況

会計名	歳入総額	歳出総額	差引残高
国民健康保険	32億969万円	31億9688万円	1281万円
介護保険	26億1087万円	25億4624万円	6463万円
後期高齢者医療	5億4286万円	5億3109万円	1177万円
墓園事業	1401万円	1263万円	138万円

※特別会計とは…特定の事業の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して別に処理するための会計をいいます。

町債(借金)と基金(貯金)の状況



9月定例会

各会計決算

議決結果

一般質問

どうなったの答弁

委員会報告

9月定例会

各会計決算

議決結果

一般質問

どうなったの答弁

委員会報告

7人が一般質問

定例会2日目、3日目(8月31日、9月1日)の一般質問に7人の議員が登壇。町執行機関に対し行政の在り方などを質問し、議論が行われました。

質問者	質問	掲載頁
玉田 晶久	小中学校の給食完全無償化はいつか	P9
	高校生等の医療費無料化に所得制限等を設けるのか	
	高齢者の補聴器購入補助制度の創設を	
山本 順久	自転車用ヘルメット購入補助についての考えは	P10
	小中学校の体育館にもエアコンを	
中島 貞次	教師用副読本の負担の在り方をどう考えるか	P10
	太子町を美しい町にするには	
吉田 智子	経済発展の政策は	P11
	町のにぎわい創出の取り組みは	
出原 賢治	人権保護の観点から、戸籍等の事前登録型本人通知制度の整備を	P11
	災害時における透析患者へのケアを検討せよ	
中藪 清志	脱炭素社会へ向けた町の取り組みは	P12
	住民参加型の町政を目指すには	
	光熱水費への補助はできないか	
森田 哲夫	町民グラウンドをもっと活用するには	P12
	高齢者がいきいきと健康で長寿な町を目指した取り組みは	
	行政の役割を熟知した人材育成と行政組織体制のあり方は	

マークのあるテーマを掲載しています。その他のテーマ、全文は会議録・動画をご覧ください。各QRコードから動画をご覧いただけます。



玉田 晶久 議員

問 学校給食費の完全無償化目標年は

答 任期中の実現を目指すのが総合的に検討する



玉田 晶久 議員
玉田 県内他市町の事例をみると、所得制限を設けて実施している事例がある

高校生等の医療費無料化について

教育次長 既に県町教育長会や西播磨市町長会が国に要望書を提出するなどしているが、必要に応じて国や県に補助等の要望を提出し、無償化に努めていく。

玉田 県内の自治体間で格差が生じないように、県にも補助を求めるべきと考えるが。

教育次長 町長の任期中の実現を目指すのが、町全体の財政状況も勘案しながら、総合的に検討していく。

玉田 小・中学校の給食費無償化の完全実施の目標年は。

町長 高齢者の支援については非常に重要と考えるが、財源の問題もあり総合的に判断していきたい。

玉田 超高齢社会となり、高齢者の社会生活も困難を抱えている。補聴器購入補助制度の創設を検討すべきではないか。

高齢者の補聴器購入補助について

生活福祉部長 所得制限を設けたり、学生に限定をしたり、所得と子供の人数等で制限をかけている市町もあるが、本町は条件を付さずに無償化を考えている。

が、本町の場合は所得制限なしの制度設計と考えてよいか。

ザ・討論

令和4年度一般会計決算の認定

反対 玉田 晶久 議員

国や県の悪政から町政が防波堤となり町民を守るべきだ。高すぎる国民健康保険税や介護保険料に、一般会計からの繰出金が不十分。播磨臨海地域道路網協議会に参加しており、無駄な大型公共事業よりも福祉予算の増額を。

賛成 出原 賢治 議員

改善すべき点があるのは事実だが、その多くは、社会の大きな変化の中で当町にも突き付けられた課題だと思ふ。この決算審議で指摘のあった点を次年度の予算策定に活かし、行政改革に継続して取り組むことが重要だ。

令和4年度国民健康保険特別会計決算の認定

反対 玉田 晶久 議員

国民健康保険が抱える構造的な課題を、財政運営の都道府県化、都

9月定例会最終日、採決にあたり、次の内容で討論がありました。



定例会最終日(討論含む)

道府県と市町の役割分担で解消しようとしている。町もこの方針に追随しており、この制度は町独自の意見が通らず、町民の防波堤としての役割が果たせない。

令和4年度水道事業会計決算の認定

反対 玉田 晶久 議員

㈱東芝がフル回転していた時代とは異なり、少子高齢化で大幅に水需要が減少しており、今後もその傾向が見込まれる。にもかかわらず高い県水を購入しており、無駄遣いとなっている。

令和4年度下水道事業会計決算の認定

反対 玉田 晶久 議員

皮革前処理を行う業者が処理場を建設すべきなのに、町の施設として建設したことが間違いの始まり。前処理施設規模の縮小、また下水道事業の約74%という有収率を向上させる努力を求めらる。

9月定例会で、次の3点について、それぞれ報告があった。

教育に関する事務の管理・執行状況の点検及び評価の報告について

令和4年度における教育委員会の事業内容や実施状況などを、元学校教育関係者等の外部評価委員が点検・分析・評価を行って今後の取り組みに生かすもの。

「学校教育の充実」32項目、「社会教育の充実」26項目について点検・評価され、成果と課題についての意見が付された。

※詳細は太子町のホームページで確認できます。



債権管理条例に基づく債権放棄の報告について

太子町債権管理条例第6条の規定に基づき、上水道事業(水道料金)の債権を放棄した。総額は11万4,379円(63件)で、債権放棄の理由は債務者死亡、時効など。

太子町の財政状況は? 健全化判断比率等の報告について

令和4年度の決算に基づき報告を受けた。

実質公債費比率… **10.6%** (昨年度は9.6%) 数値が低いほど財政状況が良い。健全化基準は25%

将来負担比率… **31.0%** (昨年度は40.2%) 状況が悪いほど数値が高くなる。健全化基準は350%

<結論> 昨年度より実質公債費比率は悪化しているものの、健全性は維持している。



吉田 智子 議員



問 経済発展の政策は

答 市街化調整区域等で 企業用地を確保していく



吉田 企業誘致、創業支援補助金の進捗状況は。
経済建設部長 市街化調整区域での工場等誘導区域の設定を含めた特別指定区域の検討を進めており、企業用地の受皿となる土地を確保していく。創業支援として広告費の補助等を行っている。中小企業・小規模企業振興協会の場で意見を聞きながら、地域経済の発展を目指していく。

吉田 特産品を中心的な産業としていくための支援策は。
教育次長 金銭的な支援策は現時点ではない。ニーズを聞き、必要があれば検討していく。

町のにぎわい創出の取り組みは
吉田 総合運動公園を活用した町の賑わいを創出する方法は。

経済建設部長 商工会が開催する物産展などを通じて、魅力の周知に努める。

問 自転車用ヘルメット購入補助の考えは

答 実施予定はないが 引き続き研究していく



山本 順久 議員

山本 今年4月に自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されたが、着用率は低い状況である。対策として啓発活動の強化とヘルメット購入の補助が有効だと言われている。ヘルメット着用への啓発活動はしているのか。

生活福祉部長 町の公式ライン、ホームページや「広報たいし」においてヘルメット着用と交通ルールの遵守を呼びかけている。商業施設においてチラシの配布をした。

山本 購入補助についての考えは。
生活福祉部長 調査結果から、購入補助事業が着用率向上につながるのかという疑問もあり、現段階では実施する予定はない。町民の

教育次長 体育館は床面積が広く高さもある広大な空間である上、教室とは異なり児童・生徒の生活時間が限られていることもあり、現在のところ空調を設置する計画はない。熱中症の危険がある場合は、運動や行事を取りやめるよう指導するなど、対策を強化していく。

声を踏まえると共に、近隣市町の動向を注視し研究していく。
小中学校の体育館にもエアコンを
山本 熱中症対策として小中学校の体育館にもエアコンが必要ではないか。また体育館は災害時に避難所にもなるため、早期に導入すべきである。設置の計画はあるか。



出原 賢治 議員

問 災害時における 透析患者へのケアを検討せよ

答 研究の上で取り組み方法を考える



出原 人工透析は、二、三日に一度の実施が生命維持に不可欠だ。災害時の混乱の中で、数日のうちに命の危険が迫る事情を鑑みれば、事前の十分な体制整備が望まれる。緊急時に県や近隣市町、医療機関と連携して対応できる準備はされているか。

生活福祉部長 まず、透析医療機関が日本透析医会災害時情報ネットワークに稼働状況等を発信する。次に龍野健康福祉事務所など県の組織が、受入れ可能な医療機関の情報を集約し、それが太子町に伝えられる。

出原 町では、避難所や町内医療機関等を通じて、透析患者に情報提供を行い受療の確保を図る。各避難所の受付では、世帯単位での避難者名簿と健康チェックリストを記入して頂くが、透析が

必要である場合はその旨を明記できるように改善していきたい。
出原 透析が必要な人を町が把握することが重要だ。避難所での案内とともに、申告が必要であることなどは平時から町民にアナウンスすべきと考えるが。

生活福祉部長 命に関わることであり、あらゆる媒体を利用して発信していきたい。
出原 各避難所で登録された情報が、災害対策本部に集約される仕組みは考えてあるか。

総務部長 被災者支援システムに登録し、情報を一括して確認できる仕組みになっている。
出原 想定した訓練は。
副町長 特化した形では行っていない。十分な研究の上で検討する。

問 住みよい美しい太子町をめざすには

答 定期的に巡回チェックを行い 善処していく



中島 貞次 議員

中島 町内の樹木や草花の剪定及び雑草処理の計画は。
副町長 公共施設は、各施設管理者が日常の管理を行っている。使用しなくなった施設は、年に数回、シルバー人材センターを中心に業者が委託して、雑草の除去等を行っている。

中島 都市公園等は、年何回現地確認し、雑草やごみ等の処分をしているのか。
副町長 シルバー人材センターや民間の造園業者に業務委託し、管理している。

利用者の多い都市公園は、週に3〜4回除草作業をしている。都市公園は、年一回の遊具点検時に必ず観察チェックを行い、



階段の手すりまで伸びた雑草

中島 太子町は美しい町と誰からも言われるようにまちづくりを進めていくべきだと考えるが、当局の考えは。
副町長 環境美化は住みよい、美しい町を作るうえで、欠かすことができない。ごみのポイ捨てや不法投棄またペットのふんの後始末など、町民ひとり一人が美しい町にしようという意識を持つことが美しい町につながると考えている。

あの日あの時あの質問 どうなった 以前の あのだ弁

以前の定例会での一般質問が、その後どのように反映されたかを追跡!

199号 令和3年7月26日発行より

質疑 生理の貧困の理解を深め、支援策の検討を

答弁 中学校2校に生理用品の配布をした。今後も支援策を検討する

その後

- ①防災備蓄品のローリングストックにて生理用品を町内の2中学校のトイレに配置しており、今年度は県立太子高校、町内の4小学校、適応指導教室のトイレにも拡充を検討している。
- ②県から提供される生理用品セットを学校の保健室に備え置き、必要とする児童生徒に配布していく。その際、県が実施している女性ためのSNS相談やオンライン相談についての事業の案内も合わせて配布する予定。
- ③生活困窮者等への支援としては、食品・日用品等に加え、現在は生理用品も配布している。



204号 令和4年10月25日発行より

質疑 太子西中学校のトイレの洋式率は25%だが、環境改善策は

答弁 計画の前倒しで、来年度の第一要望とし、環境を整えたい

その後

太子西中学校については、当初、令和7年、8年度に南校舎、北校舎のトイレの改良を予定していたが、中学生議会（令和4年8月）での提案もあり、最優先課題として取り組み、1年前倒しで実施できることとなった。

結果、令和6年度に南校舎、令和7年度に北校舎のトイレの洋式化工事を実施する予定である。今後、小学校のトイレでも洋式化されていない箇所を順次、洋式化していきたいと考えている。



問 電気料金などの補助は考えられないのか

答 国の補助があれば検討する



なかやぶ きよし 議員
中敷 清志

中敷 猛暑の中、物価の高騰やエネルギー問題などで家計が厳しくエアコンをつけずに我慢して緊急搬送される方がいると聞くことがある。来年の夏も、ここ数年と同じく暑いのではないかと。住民の命を守るために来年度予算として、夏の季節だけでも各家庭に電気代の補助など考えられないか。

総務部長 熱中症を防止するための様々な予防行動の啓発に尽力する。今後、国から財源が出れば熱中症対策として検討したい。

町長 来年度の予算編

成をこれからするが、現実としては厳しいと考える。

住民参加型の町政を目指すには

中敷 住民アンケートを内容によりインターネットで行ってみたい。

総務部長 現行での回収率は有効とされる数値なので、書面でのアンケート調査を実施している。

中敷 DXを推進して、AIでできることは任せて、効率化を進めていかなければ住民のサービスの向上は望まざる。役場機能の低下を招くのでは。

総務部長 DXは、町でも重要な課題として認識している。電子申請等の窓口についても今後幅広く進めていく必要があると考える。

問 公務員経験者の活用と新たな行政体制は

答 提言として受け止める



もり たつお 議員
森田 哲夫

森田 過去6年間の職員の退職者と新規採用職員数は。

副町長 退職者は89名、新規採用者は104名。

森田 現在職員数は約210名であり半数の職員が入替わっている。行政の役割を理解する人材の育成に関して、具体的な考えは。

町長 職員個人が目標を設定し、管理職が面談を踏まえて評価する仕組みや、そうした日々の取り組みの積み上げが人づくりにつながると考える。

森田 公務員経験者の活用と役職雇用条件を付加した登用と体制は。

副町長 まず組織としてのあるべき方向性について検討・研究する。

森田 議会対応を熟知

した町職員の育成は。

町長 課長会等で失敗事例も含めて共有するなど、日常の活動の中で育成できればと思う。

健康長寿の町を目指せ

森田 高齢者向けの健康遊具の設置と指導員による助言により健康長寿先進都市を目指した今後の取り組みは。

町長 そうした面で高齢者施策を充実させることは重要だ。健康遊具の利用実態や自治会・老人会の意見も踏まえ総合的に判断する。

森田 *フレイル予防に向けた取り組みは。

生活福祉部長 医療機関との連携、フレイル状態の方への問いかけ、その啓発について強力に推進していきたい。

*フレイル 年齢と共に筋力や心身の活力が低下し、健康と要介護の間の虚弱な状態をいう。

9月定例会
各会計決算
議決結果
一般質問
どうなった
以前のあのだ弁
委員会報告

9月定例会
各会計決算
議決結果
一般質問
どうなった
以前のあのだ弁
委員会報告

総務経済建設常任委員会

7月13日

課題調査

公共用地・公共施設等の在り方について、普通財産のうち9カ所の住所・現状・今後の用途等を資料要求した上で調査していくこととした。

8月10日

課題調査

公共用地・公共施設等の在り方について要求した資料（地図等）の提出があり、協議した。これに基づき次回以降に検討していくこととした。

所管事務調査

①令和3年と5年に、議会棟の外壁修繕工事を実施した件について、原因究明および今後の

対策について説明を求めた。

主な説明内容

要因はさまざま考えられるが、特に温度、湿度の変化に伴うひずみが繰り返して発生したこと壁面に亀裂が生じたと考えている。今後の対策としては、建物を健全な状態で安全に使用するため、定期的な点検を行いながら運用していく。

主な説明内容

既に埋設されていた電線管に電線を通そうとしたところ、管に電線が入らないという不具合が発覚したことから、最終的に裁判に発展した。令和4年に3回、5年に4回の弁論手続きを行っている。具体的な内容については、係争中につき説明できない。

9月6日

付託案件審査

付託された企業会計決算の認定2件の審査を行い、いずれも賛成多数により認定すべきものとし、本会議で報告した。

令和4年度水道事業会計決算の認定

主な質疑応答

問 営業外収益の決算額が令和2・3年度と

比べると約1億円減少しているが。

答 コロナ禍の影響に伴い過去2年間、減免分を一般会計から繰り入れていたが、令和4年度は減免をしていないため、その分が減額となっている。

問 立岡山南配水池を維持している理由は。

答 災害や導水管の破損等の事故に備えるためである。しかし、北配水池を以前より容量を大きくして更新しているため、南配水池の維持については、今後検討していきたい。



立岡山山頂の南配水池

令和4年度下水道事業会計決算の認定

主な質疑応答

問 雨天時の侵入水の対策について、その後の進展は。

答 流域下水道の関係団体が集まり対策を検討している。町においては、職員が巡回点検し、公共ます等の確認をしている。

問 雨水1・4号幹線の工事監理業務が直営でできない理由は。

答 オープンシールド工法等の特殊工法で施工しており、一般的な土木工事に比べると難易度が高いため委託している。

課題調査

現在活用されていない公共用地・公共施設について、次回委員会で現地確認することとした。

福祉文教常任委員会

7月12日

8月9日

課題調査

「手話言語条例の制定」に向けて今後の進め方につき検討した。

9月5日

課題調査

「手話言語条例の制定」に向け現場の意見を聞き、今後の手話言語条例の制定に活かしていくこととした。

なお、手話言語の国際デーに合わせて開催される意見交換会（9月24日）に有志で参加することを確認した。



付託案件審査

付託された条例4件、特別会計決算の認定4件の審査を行い、いずれも全員賛成により可決・認定すべきものとし、本会議で報告した。

福祉医療費助成条例（一部改正）

主な質疑応答

問 高校生（同年齢の方を含む）の入院医療費に係る自己負担額を全額補助する事業であるが、その影響額は。

答 年間1,150人が対象と想定し、入院費が200万円の予定である。（P3「暮らしの中の条例」参照）

放課後児童健全育成事業実施条例（一部改正）

主な質疑応答

問 益休みを変更する理由は。

答 小中学校と幼稚園の一斉閉鎖日が、現在の8月14日～16日から8月13日～15日になる予定であり、小学校の校舎や敷地内で実施している児童保育園もあることから、それに合わせるよう調整した。

町立幼稚園設置条例（一部改正）

主な質疑応答

問 3歳児保育が本格実施されるが、保育所と幼稚園の一体化に向けた認識は。

答 一体化については、現時点では考えていない。

令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

主な質疑応答

問 不納欠損額が減少している要因は。

答 口座振替の勧奨や個別徴収を実施し、滞納繰越分については、財産調査や差し押さえ等を実施している。

広報研究会

8月2日（水）神戸市・県民会館において、県下2市12町議会の各広報委員会の議員が一堂に会して「議会広報研究会」が行われました。

太子町からは広報広聴委員会委員と議長が参加し、研修1「伝わる議会報の編集ポイント」、研修2「広報誌クリニック」を受講しました。クリニックでは、参加市町が持ち寄った議会広報紙の良い事例と気をつけた事例を、具体的に指摘しながら講演が行われました。

講師は、自治体広報広聴研究所代表理事・広報アドバイザー金井茂樹氏。



基調講演の内容（一部）

- ① 誰に・何を・どのよう伝えるか（3つの心がけ）が必要。
- ② リード文（予測情報で理解をしやすい）とする。
- ③ 情報表現として、視認性（見出し）・可読性（読みやすい文章）・判読性（わかりやすい文章）・デザイン性（整っている）に配慮が必要。
- ④ 紙面のみで制度や仕組みを読者に伝えることは困難で、ウェブサイトとの緊密な連携が必要。
- ⑤ 読者に対し、理解を深めてもらう工夫をすることが重要。



9月定例会

各会計決算

議決結果

一般質問

どうなった 以前のあの答弁

委員会報告

太子町! あれこれピックアップ♪

秋祭り、その伝統と未来

9月になると、夜に太鼓の音が聞こえてくる。秋祭りに向け、屋台の乗り子が練習に励んでいる。独特のリズムに、今年もこの季節がやってきたと感じる人も多い。

ひえだ 稗田神社の秋祭り

西暦610年ごろの創建とされる稗田神社(太子町鶴)は、稗田阿礼、素戔嗚尊の二柱を祭神としている。秋祭りは、五穀豊穡・無病息災・家庭円満などを願い、地元の神様を祀りお祈りすることが由来だ。稗田神社の秋季大祭では、初日の宵宮に二柱の神様が神輿に乗って、斑鳩寺境内にある御旅所に移る(渡御)。翌日の本宮に御旅所から神殿に帰ってくる(還御)。

お神輿を守護し、先導する役目を担うのが屋台だ。乗り子が打ち鳴らす太鼓の音は、地固めをして悪魔が出てくるのを防ぎ、同時に神様を歓待し楽しんでもらう意味もあるという。4人の小学生が屋台に乗り、太鼓を囲む。6年生と決まっているため一生に一度の体験となる。担ぎ手は約80人、取り巻きを合わせて100名を超える人が息を合わせる。二日間、屋台の練り歩きは夜遅くまで続く。

かつて稗田神社には13台の屋台があったが、現在は鶴の屋台のみとなっている※。コロナ禍で中止になった年もあったが、鶴の8つの自治会とも協力して伝統をつないできた。

「伝統を引き継ぐ君たちへ」

9月下旬、斑鳩小学校のオープンスクール。実行委員会のメンバー9人が早朝より準備し、



体育館に祭りの道具が運び込まれた。集まった5年生が、

秋祭りの由来や屋台についての説明を聞き、スライド

の写真や動画に見入る。「祭りを体験してみよう」と、乗り子の手ほどきを受け、拍子木や担ぎ棒に触れ、まわしを着ける。一足早い祭りの空気に子どもたちの歓声が響き、多くの保護者も参観に訪れた。「太鼓がたたけてうれしかった」と、乗り子体験は特に人気だ。最後に実行委員会から、「生まれ育った故郷に感謝し、祭りを愛してください」との思いが伝えられた。

斑鳩寺前の屋台蔵で片付けていると、通りすがりの女性が「ご苦労様です」と声を掛ける。

参拝に来ていた幼稚園児たちが、開けられた蔵からのぞく美しい屋台の姿に「お祭り?」と目を輝かせる。地域に支えられ、こうして伝統は次の世代に受け継がれてゆく。

※太子町では他に、田中(黒岡神社)、町興(黒岡神社)、糸井(魚吹八幡神社)の屋台がある。



12月定例会予定

- ・11月27日(月)【第1日/提案説明】
- ・11月30日(木)【第2日/一般質問】
- ・12月1日(金)【第3日/一般質問】
- ・12月4日(月)【第4日/議案質疑】
- ・12月18日(月)【第5日/討論・採決】

議会傍聴にお越しくささい!



◆お知らせ

12月定例会の予定は、左記のとおりですが、変更する場合がありますので、正式日程はホームページまたは議会事務局までお問い合わせ下さい。



太子町議会だより
マスコミキャラクター
たいしん

編集後記

暑い夏も終わり、過ごしやすい季節となりました。食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋、秋の楽しみ方も色々ありますね。

9月定例会では、令和4年度決算など多くの議案を審議しました。その内容をわかりやすくお伝え出来るように、図解を多く使うなどの工夫をして編集しました。これからも読みやすい紙面づくりに努めて参ります。

(山本順久 記)

◆編集 広報広聴委員会

委員長 吉田 智子
副委員長 出原 賢治
委員 清原 良典
森田 哲夫
玉田 晶久
山本 順久

あなたの「声」をお聴かせください

議会だよりを読んでのご感想などお聴かせください。



お問い合わせは 太子町議会事務局 まで